



3.11伝承・減災プロジェクト

令和5年度

津波防災シンポジウム

切迫する海溝型地震に備える
～震災の教訓を活かした津波防災～

日時

令和5年 **11月23日**(木・祝)

13時30分～16時00分

※12時30分開場

場所

宮城県庁 2階講堂

(仙台市青葉区本町3丁目8番1号)

定員

先着200人、入場無料
申込詳細は別紙のとおり

※イラストはイメージです。

同日開催（開催期間：11月20日～28日）

3.11復旧・復興パネル展

宮城県庁2階東側廊下にて

【基調講演】 13:35～

「津波伝承と次への備え

～東日本大震災等の教訓を活かして～」

いまむら ふみひこ

今村 文彦氏

(東北大学 災害科学国際研究所 津波工学教授)

【話題提供】 14:55～

(宮城県多賀城高等学校)

「多賀城高校の防災教育について」

【情報提供】 15:35～

(宮城県)

「第五次地震被害想定調査について」



※調整により題目や順番が変わることがあります。

■主催：宮城県

■共催：公益社団法人 宮城県建設センター

お問い合わせ：宮城県土木部防災砂防課防災企画班

Tel : 022-211-3175

Fax : 022-211-3193

E-mail : bousa-ki@pref.miyagi.lg.jp



開催主旨

宮城県では、平成18年度から津波防災意識の向上を目的とした『津波防災シンポジウム』を開催しており、今年が14回目の開催となります。

東日本大震災以降は、シンポジウムを通じて津波防災と津波災害伝承、伝承継続の重要性について理解を深めてきましたが、今年度は、今後発生が想定されている、日本海溝・千島海溝型地震に関連し、「切迫する海溝型地震に備える～震災の教訓を活かした津波防災～」をテーマに津波に備えるための取り組むべき課題や連携を考えます。

講演者紹介

東北大学 災害科学国際研究所 津波工学教授 いまむら 今村 ふみひこ 文彦 氏

1989年3月東北大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了。同大学院附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、平成26年から令和5年まで災害科学国際研究所所長を歴任。

主な専門分野は津波工学(津波防災・減災技術開発)、自然災害科学。主にNHK放送文化賞(平成26年)、防災功労者内閣総理大臣表彰(平成28年)、濱口梧陵国際賞(令和2年)などを受賞されている。現在も、東日本大震災復興構想会議検討部会、中央防災会議専門調査会などのメンバー、復興庁復興推進委員会委員長、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事、土木学会副会長などで活躍されている。

話題提供者紹介

宮城県多賀城高等学校 教諭 おの 小野 ゆうすけ 裕介 氏

宮城県多賀城高等学校 災害科学科 とは

平成23年3月11日に発生した東日本大震災など、大震災から学んだ教訓を確実に次世代へ伝承するとともに、将来国内外で発生する災害から多くの命と暮らしを守ることができる人材を育成するため、平成28年に開設された東北被災地初の防災系専門学科。

会場アクセス

宮城県庁 2階講堂 (仙台市青葉区本町3丁目8番1号)

- 【徒歩】「JR仙台駅西口」より徒歩約20分
- 【バス】「県庁市役所前」より徒歩約3分
- 【地下鉄】「勾当台公園(北2番出口)」より徒歩約3分

※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



参加お申込方法

みやぎ電子申請サービスをご利用いただくか、必要事項を記入の上、メールまたはFAXで送信をお願いします。

◆みやぎ電子申請サービスでお申込みの方

URL : <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1697095552066>

◆メールまたはFAXでお申込みの方

津波防災シンポジウム 参加申込書	
所属 (一般又は会社名)	
お名前・ふりがな (複数の場合は代表者氏名)	
ご住所(市町村名)	
ご連絡先	
参加人数	



電子申請QR



こちらからも
申込できます
(HPへ)

申込期限

令和5年11月17日
まで ※

TEL

022-211-3175

E-mail

bousa-ki@pref.miyagi.lg.jp

FAX

022-211-3193

宮城県土木部防災砂防課防災企画班あて

※受付は先着順となります。申込多数の場合は、受付を締め切らせていただく場合がございます。

※申込を済ませた方への返答は行いませんので、当日会場受付までお越し下さい。